

1

マネジメントビジョン2050策定にあたって

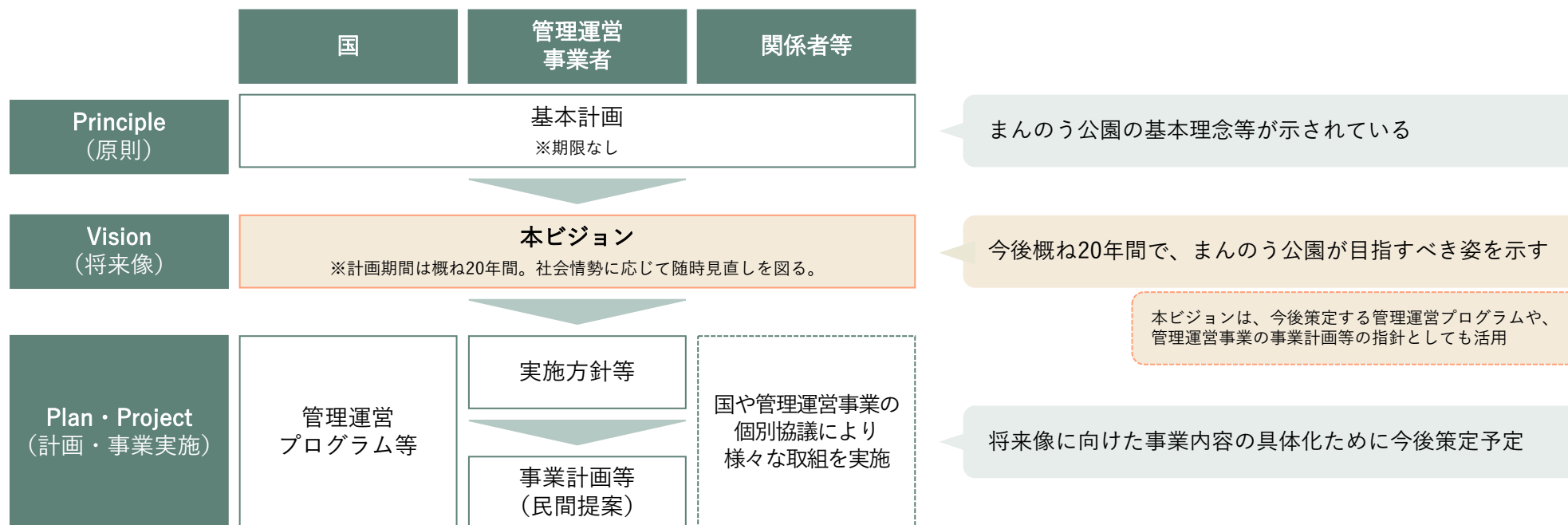
マネジメントビジョン2050策定の目的

国営讃岐まんのう公園（以下「まんのう公園」という）は、日本最大の灌漑用のため池である「満濃池」に隣接する四国圏で唯一の国営公園です。平成10年度に供用開始されて以降、令和5年度までの26年間にわたり、国・管理運営事業者を中心とした管理運営により、累計1,000万人以上の利用者を迎えてきました。

この間、継続的な公園整備を進め、平成25年には全面開園し、基本計画に示された公園の基本等の実現に向けて様々な取組みを進めてきましたが、これからの将来においては、国・管理運営事業者・自治体・関係者等の幅広い連携の下で、社会情勢の変化にも柔軟に対応していくことが必要です。

マネジメントビジョン2050（以下「本ビジョン」という）は、今後概ね20年間に於いて「まんのう公園が目指すべき姿」を示すことで、まんのう公園のマネジメントに関わる多様な主体の共通理解を形成し、まんのう公園のさらなる発展を促すことを目的として策定するものです。

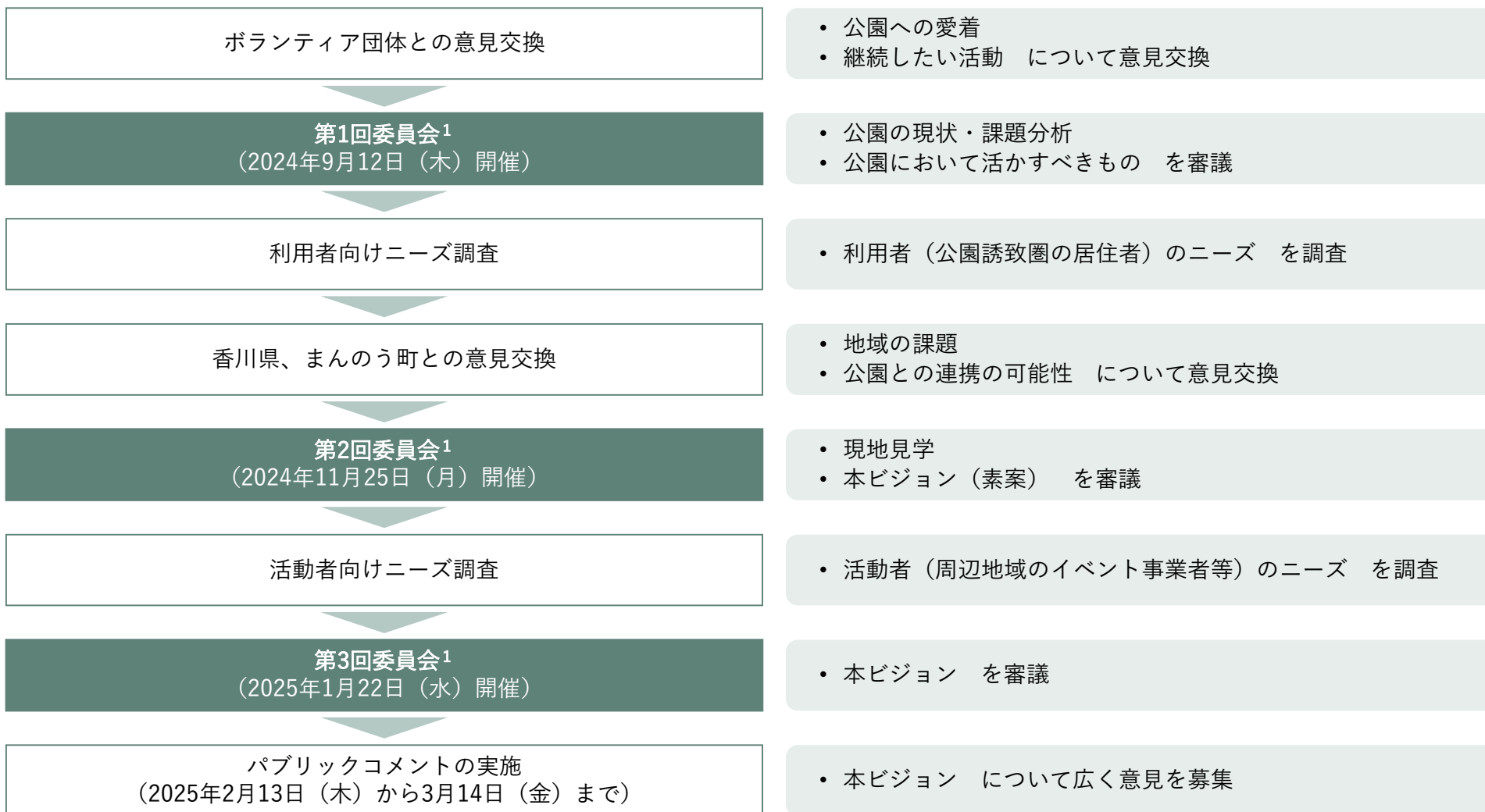
本ビジョンの位置づけ



マネジメントビジョン2050策定のプロセス

本ビジョンは、利用者や活動者のニーズ調査や、ボランティア団体、香川県、まんのう町との意見交換を行い、まんのう公園の活性化に向けた機運醸成を図りながら策定しています。

本ビジョン策定のプロセス



1：委員会とは、「令和6年度 国営讃岐まんのう公園管理運営ビジョン検討委員会」を指します。各委員会の実施概要は、国土交通省四国地方整備局のHPからご確認いただけます。